

学校広報誌

相模

s a g a m i



sagami Vol. 7

東海大学付属相模中学校
東海大学付属相模高等学校

住所：神奈川県相模原市相南3-33-1
電話：042-742-1251

2006年5月13日号 編集・発行 / 研究部

2006年5月13日号

- | | |
|---|--|
| <p>P1 卒業式 / 入学式 / 教員紹介</p> <p>P2 全国大会報告 / 甲子園ほか</p> | <p>P3 中・高等学校行事 / 練成旅行ほか</p> <p>P4 中・高等学校行事 / 中学3年生が文部科学大臣賞受賞</p> |
|---|--|

中学第24回 高等学校第41回 卒業式 3月10日

中学校第24回・高等学校第41回卒業証書授与式が挙行され、中学生は120名、高校生は607名、合計727名の生徒が卒業を迎えました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの来賓や先生方に見送られ、生徒は晴れやかな表情で旅立って行きました。卒業生のみさんの今後のご活躍を期待します！



中学第27回 高等学校第44回 入学式 4月8日

春うららかな日の中、東海大学付属相模中学校・高等学校入学式が行われました。中学校151名、高等学校569名、合計720名の新入生が本校の門をくぐりました。期待に胸を躍らせる新入生は、学校の授業、部活動、行事を通して、自らの思想を培い、友情を育み、充実した3年間を過ごすことでしょう。



転任・新任の教員紹介

相模生・保護者へのメッセージ

生徒の皆さんには悔いの残らない相模生としての生活を送れるよう、自分のやりたい事を見つけ、精一杯努力をし、素晴らしい成果を残してもらいたいと思います。そして、自分の希望する進路の実現を目指し、学業面でも手を振らずに頑張ってください。

未来に向け、輝け相模生！

～教頭補佐・メディアセンター室長
飯田 雅美～

～教員名～

- (国語) 見村敏郎、加藤れん、清水保子、宍戸郁子
- (社会) 池田哲朗、井山裕文
- (数学) 田辺統久、松本豊、野原博、小倉将吾
- (理科) 飯田雅美、内野温子、根本陽介、渡辺良太
- (保健体育) 木村由衣、角田真一
- (英語) 杉下弘美、小林純子、湯地智之、中川正博、根反豊、リチャード・ハイト、キース・クリスティ、佐々木玲子、白井洋一、押尾聡、ケヴィン・ドノヴァン、ポール・マックリング、デヴィット・ピーターソン、ルーシー・ホリンソン
- (養護) 長瀬牧子
- (事務) 向田直美

第78回選抜高等学校野球大会 報告と御礼

このたびは、第78回選抜高校野球大会出場に際しまして、温かいご支援とご協力を賜りまして、誠に有難うございました。また、お忙しい中を、甲子園球場まで応援に駆けつけていただき、本当に有難うございました。結果は二回戦で延長14回の末、長崎県代表・清峰高校に敗れ、残念ながら皆様の期待に応えることはできませんでした。しかし、野球部は目標を新たに、夏の大会に向けてスタートを切りました。今後も精一杯の努力をし、頑張っていく所存ですので、どうぞご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



野球部部長 田倉雅雄
監督 門馬敬治
部員一同

全国高等学校選抜大会 報告 アーチェリー部・テニス部

平成17年度JOCジュニアオリンピックカップ兼第24回全国高等学校アーチェリー選抜大会が開催(3月26日~28日)され、本校より佐々木美奈(3年)・矢作勇樹(3年)永嶋勇亮(3年)の3名が出場しました。結果、佐々木美奈は43位、矢作勇樹は21位、永嶋勇亮は57位となりました。この大会は世界ジュニア選手権大会(メキシコ)の予選を兼ねており、3名のうち、矢作勇樹が5月12日~14日に孺恋で行われる第2次選考会に出場が決定しました。顧問 高橋秀太郎
女子テニス部は惜しくも一回戦で敗退しました。次の活躍にご期待下さい。

顧問 森繁・諸節敬



中高柔道部! ~全国で大暴れ!!~

第28回全国高等学校柔道選手権大会 【2006年3月21日 於日本武道館】

日本一を目指し、この大会に挑みましたが、結果は三位という自分たちの満足のいく結果にはなりませんでした。夏は絶対に優勝ができるようにまた頑張っていきたいと思います。

高校柔道部主将 平井勝

第19回近代柔道杯全国中学生柔道大会 【2006年3月26日 於東京武道館】

この大会は、三年生が引退して初めての全国大会であり、経験者はいたものの自分も含め半分以上のメンバーが初めての全国大会でした。不安や緊張もありましたが、「絶対優勝する!」という気持ちで試合に臨みました。そして試合前には、今までやってきた練習が自信へと繋がり、準決勝まで進むことができました。結果は三位でしたが、この悔しさを忘れずに、夏の全国大会に向けて必死に頑張りたいと思います。

中学柔道部主将 馬場祐也



中高バスケットボール部員の活躍! ~県・全国の代表に選ばれ、大活躍!!~

高校では、神奈川県ジュニアチームに以下の6名が選抜され、秋の国体に出場します。

養田達也(3年) 袋館大晴(3年)

小林真人(3年) 小山史(2年)

小嶋啓太(2年) 宮井亮(2年)

中学では、梅林聡貴(3年)がU-15 トップエンデバー(全国レベルの選手)として選抜され、日本代表としての能力を育成すべき選手として、現在優秀な仲間たちとの力を削っています。また同じく梅林と小山拓実(3年)が神奈川県ジュニアチームに県代表として選抜され、国体に出場しました。



第14回 相模ふれあいフェスティバル 3月19日
 地元の方と落語や踊りで楽しみました



恒例となりました「相模ふれあいフェスティバル」が今年も開催されました。
 ふだんお世話になっている学校周辺の地域の方々へ感謝の意をこめて、福祉委員会・生徒会、多くのクラブの有志が運営にかかわり、盛況のうちを終えることができました。地域の方々をはじめ多数のご来場をいただきました、ありがとうございました。
 生徒会顧問 小川雅幸

湘南校舎でウォークラリー！ 錬成旅行 4月19日～21日

高校の伝統行事である、新入生対象の錬成旅行が行われました。目的は建学の精神を学び、同級生との親睦を深め、高校の規律を身に付けるものです。箱根で行われ、校長による現代文明論講話を受講したり、ウォークラリーや歌唱コンテストなど、日ごろ学校では体験できないものを行いました。また3年後には入学する東海大学へのキャンパスラリーも行われ、生徒は興味深そうにキャンパスの中を歩いていました。旅行を通して、早く仲間と打ち解け、学校生活に慣れて欲しいものです。



響け感謝の歌声 3年生を送る会 3月9日



今年の“3年生を送る会”はバージョンアップ！昨年までのスタイルに3年生のクラス合唱をプラスしました。クラスそれぞれに工夫が見られ、ドラムセットを用意するクラスもあり、聞いていてとても楽しめる合唱でした。合唱練習時には、なかなか声を出してくれなかった男子も本番では声を出してくれたことにホッとしました。3年生の学年合唱は開催した日にちと同じ曲名のレミオロメン「3月9日」を迫力ある歌声で、1・2年生も先輩への感謝の気持ちをこめて元気良く学年合唱を歌いました。

音楽科 伊藤浩巳

翔洋中と交流！ 錬成旅行 4月26日～28日

入学式の余韻も残る4月下旬、中学1年生151名が錬成旅行に旅立ちました。途中雨にたたられましたが、東海大学海洋科学博物館では、特別に館長先生自らの説明もいただき、生徒は目いっぱい楽しむことができました。また、今年度の新たな試みとして、最終日に付属翔洋中学校1年生との交歓会を持ち、お互いに各クラスの目標を発表し、目標を実現するための『実行宣言』をしてきました。今後『宣言』の内容どおり、各クラスとも仲良く目標に向かって進んでほしいと思います。

学年主任 柴 清



理科離れにストップ！ 中学1年生に訪問授業！ 3月15日

本校小ホールにて東海大学理学部物理学科主任教授鈴木恒則先生をお招きして、中学1年生（120名）を対象に、出前授業（訪問授業）が行われました。テーマは「カメラ原理・ピンホールカメラの製作と撮影」です。普段の授業ではできない、さまざまな体験を通して、科学のおもしろさやものづくりの楽しさを学びました。尚、今年度より中学全学年対象に出前授業を実施していく予定です。乞うご期待！

美術科 山本博史



中学3年生ハワイ語学研修報告 3月15日～4月2日

去る3月15日～4月2日、卒業した中学3年生のうち49名がハワイ東海インターナショナルカレッジにて語学研修を行いました。午前中は語学の授業、午後は外へ出かけてハワイの文化や歴史、大自然に触れ、夜はフラダンス、クラフト、ミュージックの3つを日替わりで学ぶ、という充実したプログラムのもと、生徒は積極的に学んでいました。天候に恵まれなかったのは残念でしたが、貴重な体験をし、大きく成長して帰ってくることができました。

技術家庭科 河原千香子



全日本年賀状コンクール ～ 中学3年生奥村文菜さんが文部科学大臣奨励賞受賞！ ～

日本郵政公社では、楽しく個性豊かな年賀状づくりの勧奨と、年賀状の交換により一層の交流を深めるために毎年コンクールを開催しています。これを受けて、本校でも美術の授業や美術部の活動の中で、年賀状づくりを実践しています。この実践の成果として、本校より3年・奥村文菜さんが、文部科学大臣奨励賞（今年度最高賞）を受賞するという快挙を成し遂げました。

美術科 山本博史



今回、このような賞を頂くことができ、驚きと同時にとても感激しています。私が年賀状の題材として教室をモチーフにした理由は、中学二年生という、もう二度と戻っては来れない大切な日常を描こうと感じたからです。誰もいない教室というのはとても淋しいもので、友達がすごく大切な存在である、ということがわかると思います。これからたくさんさんの絵を描き、人に感動を与えられる、そんなものを書いていきたいと思っています。本当にどうもありがとうございました。